

ニチイキッズおおみや上落合保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2021年1月7日（木）～1月29日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2021年2月4日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもの最善の利益とはどのようなことか、日々意識しながら子どもと向き合ってきた。一人ひとりを大切に考え受容的で応答的な関りを全職員で心がけてきた。
子どもの発達援助	保育者が側にいることの安心感を感じられるよう十分なスキンシップを心がけてきた。子どもの「やってみたい」を受けとめ、見守りと援助のバランスを意識して関わってきた。
保護者に対する支援	コロナ禍で行事に制限があったため、園の様子を伝える手段に困惑することもあった。毎日の送迎時に安心してもらえるような関りを心がけ、努めていく。
保育を支える組織的基盤	保育者一人ひとりが保育者としての理想をしっかりと持って勤めている。園外研修や園内研修の充実化が今後の課題であり、研修を通して一人ひとりのスキルアップに努めていく。

総評
<p>子どもたちの発達について勉強会を開き、意見を交換しながら実際の保育に活かすための学びを行ってきた。権利や条約についての学びをより深め、外部研修に参加する機会を設けることでお互いに良い刺激をもたらしながらスキルアップに努めていきたいと思う。</p> <p>また、保護者への安心や喜びについてもっと工夫ができたのではないかと課題に思うところもあったため、コロナ禍でどのように園での様子を伝えられるか、今後の課題として検討を深めたいと思う。</p> <p>子どもたちが楽しく元気に過ごせていたことは一番良かった点だと感じている。</p>